

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第20週 （5月13日～5月19日）

★県内での感染症発生状況

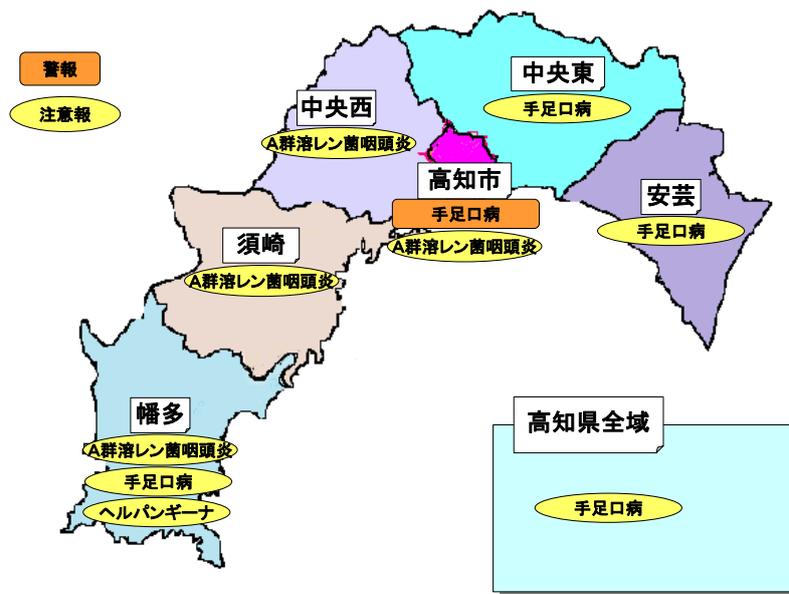
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所別の傾向
手足口病	↑	4.32	高知市、幡多、安芸、中央西、須崎で急増、中央東で増加しています。
感染性胃腸炎	↗	3.60	安芸で急減、中央西で減少していますが、高知市で急増、中央東、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	3.44	中央東、安芸で急増、幡多、高知市で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	↗	3.20	高知市、須崎で増加しています。
RSウイルス感染症	↗	1.08	中央東で急減していますが、中央西、幡多で急増、高知市で増加しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★感染症予防の基本

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計ははずしていますか？

- ① 石けんを泡立て、てのひらをよくこすります
- ② 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- ③ 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいます
- ④ 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします

汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ
タオルの共有は避けましょう



★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

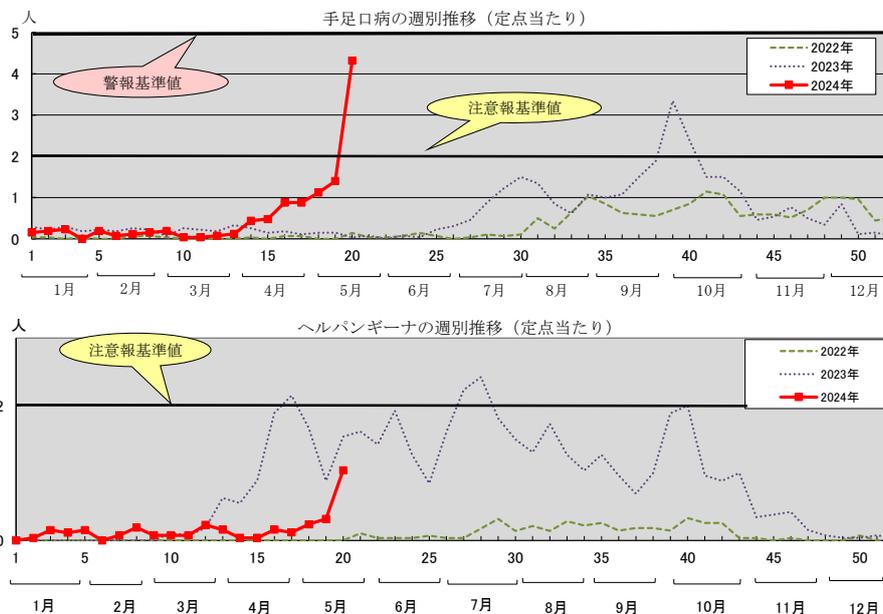
夏型感染症(手足口病・ヘルパンギーナ)

夏型感染症は、例年、6月頃から5歳以下の乳幼児を中心に報告数が増えはじめ、7～8月頃にピークとなります。

手足口病は、通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。病気の原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルスA6、A16、エンテロウイルス71 (EV71) で、その他、コクサッキーウイルスA10などが原因になることもあります。コクサッキーウイルスA6感染により手足口病の症状が消失してから、1か月以内に、一時的に手足の爪の脱落を伴う症例も報告されていますが、自然に治るとされています。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に形成される水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



●予防方法

- *手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- *回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

手足口病・ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

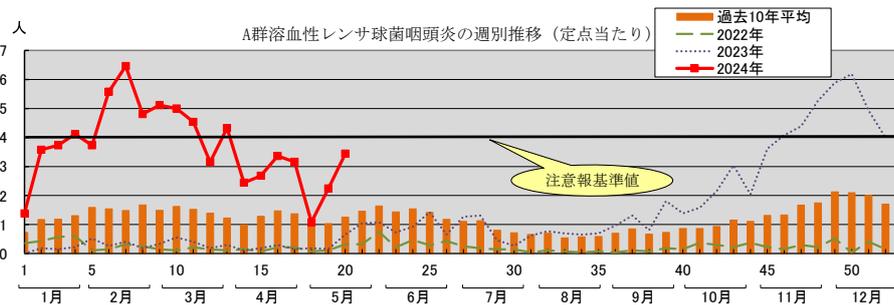
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

この病気は、A群連鎖球菌による上気道感染症です。

県内では過去10年間の同時期と比較して報告数が多くなっています。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。

典型的な症状は、2～5日の潜伏期を経て、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



●予防方法

*患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

●学校感染症

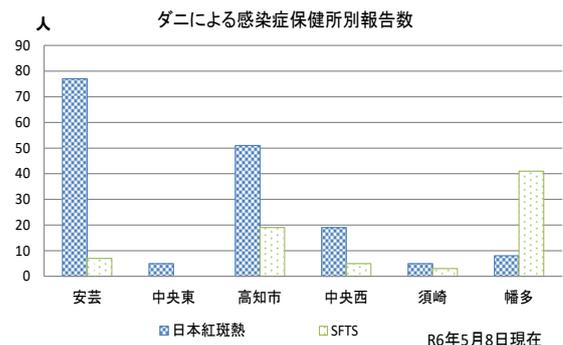
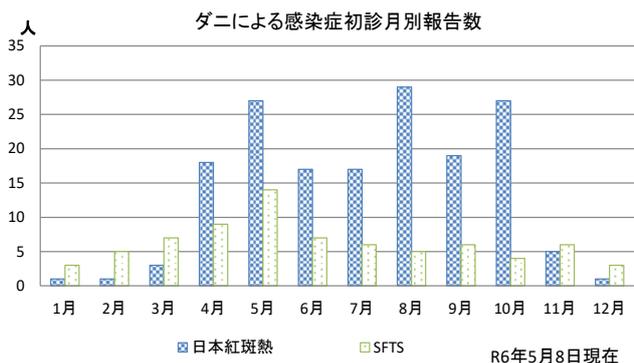
学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第3種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱)

「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、ネコやイヌなどの動物がSFTSウイルスに感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。

ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。



●予防方法

- マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- 野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- 虫除け剤（有効成分：ディート）も有効です。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- 体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- 野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- 受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	22	40 歳代 女性	高知市
		1		70 歳代 男性	
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	20 歳代 男性	
4 類	マラリア	1	1	5～9 歳 男性	幡 多
5 類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	5	60 歳代 男性	高知市

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
20	手足口病	39℃,口内炎	1	男	須崎	Cytomegalovirus
						Epstein-Barr virus
20	手足口病疑い	38℃,発疹	2	男	幡多	Epstein-Barr virus
						Human herpes virus 6
20	下気道炎	40℃,咳嗽,上気道炎,下気道炎,気管支炎	1	男	幡多	Parainfluenza virus 3
20	気管支炎	40℃,咳嗽,気管支炎	10か月	男	幡多	Parainfluenza virus 3

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	ノロウイルス感染症と思われる胃腸炎が2～14歳流行中
	JA高知病院小児科	マイコプラズマ2例 溶連菌性咽頭炎2例 手足口病6例 突発性発疹1例 ヘルパンギーナ4例 COVID-19 2例 インフルエンザB型3例
高知市	けら小児科・アレルギー科	インフルエンザ0例 COVID-19 11例 溶連菌感染症13例 RSウイルス気管支炎9例 手足口病24例 ノロウイルス胃腸炎6例
	福井小児科・内科・循環器科	手足口病18例 ヘルパンギーナ3例 溶連菌感染症6例 インフルエンザ0例 COVID-19 3例 胃腸炎が増加傾向
	細木病院小児科	hMPV感染症1例(2歳女) RSウイルス感染症2例 咽頭結膜熱2例 溶連菌感染症12例 インフルエンザB型1例 COVID-19 1例
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ1例(2歳女：土佐市) 溶連菌感染症1例(9か月女：土佐市) 帯状疱疹1例(20歳代男) COVID-19 1例
須崎	もりはた小児科	RSウイルス感染症5例 溶連菌感染症9例 手足口病2例 ヘルパンギーナ1例 COVID-19 5例
幡多	こいけクリニック	アデノウイルス扁桃炎1例(1歳男)
	さたけ小児科	溶連菌感染症13例 手足口病10例 ヘルパンギーナ6例

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは2024年5月20日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第20週 令和6年5月13日(月)～令和6年5月19日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(19週)	高知県(20週末累計)		全国(19週末累計)
											R6/1/1～R6/5/19	R6/1/1～R6/5/12	
インフルエンザ (COVID-19(4))	インフルエンザ		9	4	5	1		19 (0.43)	21 (0.48)	1,692 (0.34)	9,445 (214.66)	1,138,366 (230.95)	
	新型コロナウイルス感染症	8	32	69	9	12	11	141 (3.20)	103 (2.34)	13,652 (2.76)	5,875 (133.52)	694,699 (140.94)	
小児科 (25)	咽頭結核熱			3			2	5 (0.20)	9 (0.36)	2,136 (0.68)	285 (10.96)	53,424 (17.07)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	41	8	9	22	86 (3.44)	56 (2.24)	11,114 (3.54)	1,896 (72.92)	222,966 (71.24)	
	感染性胃腸炎	4	30	40	2	3	11	90 (3.60)	59 (2.36)	11,408 (3.64)	1,689 (64.96)	301,552 (96.34)	
	水痘		1	1				2 (0.08)	5 (0.20)	722 (0.23)	63 (2.42)	8,389 (2.68)	
	手足口病	4	16	65	2	2	19	108 (4.32)	35 (1.40)	2,809 (0.90)	279 (10.73)	17,015 (5.44)	
	伝染性紅斑							()	()	108 (0.03)	12 (0.46)	1,338 (0.43)	
	突発性発疹	1	1	4		2	2	10 (0.40)	3 (0.12)	979 (0.31)	99 (3.81)	13,117 (4.19)	
	ヘルパンギーナ	3	4	7	1	1	10	26 (1.04)	8 (0.32)	355 (0.11)	84 (3.23)	2,323 (0.74)	
	流行性耳下腺炎			2			1	3 (0.12)	1 (0.04)	152 (0.05)	9 (0.35)	1,842 (0.59)	
	RSウイルス感染症		2	16	3	5	1	27 (1.08)	22 (0.88)	3,832 (1.22)	141 (5.42)	36,993 (11.82)	
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	22 (0.03)	()	172 (0.25)	
	流行性角結膜炎							()	()	518 (0.75)	11 (3.67)	7,202 (10.39)	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	()	9 (0.02)	5 (0.63)	154 (0.32)	
	無菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	1 (0.13)	173 (0.36)	
	マイコプラズマ肺炎							()	()	89 (0.19)	12 (1.50)	893 (1.86)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	2 ()	()	15 (0.03)	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	6 (0.01)	6 (0.75)	124 (0.26)	
計 (小児科定点当たり人数)	21 (8.50)	100 (13.94)	252 (25.10)	30 (11.50)	35 (14.25)	79 (18.38)	517 (17.91)			49,613	19,912 (523.44)	2,500,757	
前週 (小児科定点当たり人数)	23 (9.00)	72 (9.87)	125 (12.10)	35 (13.50)	31 (13.00)	36 (7.63)		322 (10.74)					

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第20週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(19週)	高知県(20週末累計)		全国(19週末累計)
											R6/1/1～R6/5/19	R6/1/1～R6/5/12	
インフルエンザ (COVID-19(4))	インフルエンザ		0.90	0.29	1.25	0.25		0.43	0.48	0.34	214.66	230.95	
	新型コロナウイルス感染症	2.00	3.20	4.93	2.25	3.00	1.38	3.20	2.34	2.76	133.52	140.94	
小児科 (25)	咽頭結核熱			0.33			0.50	0.20	0.36	0.68	10.96	17.07	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.83	4.56	4.00	4.50	5.50	3.44	2.24	3.54	72.92	71.24	
	感染性胃腸炎	2.00	5.00	4.44	1.00	1.50	2.75	3.60	2.36	3.64	64.96	96.34	
	水痘		0.17	0.11				0.08	0.20	0.23	2.42	2.68	
	手足口病	2.00	2.67	7.22	1.00	1.00	4.75	4.32	1.40	0.90	10.73	5.44	
	伝染性紅斑									0.03	0.46	0.43	
	突発性発疹	0.50	0.17	0.44		1.00	0.50	0.40	0.12	0.31	3.81	4.19	
	ヘルパンギーナ	1.50	0.67	0.78	0.50	0.50	2.50	1.04	0.32	0.11	3.23	0.74	
	流行性耳下腺炎			0.22			0.25	0.12	0.04	0.05	0.35	0.59	
	RSウイルス感染症		0.33	1.78	1.50	2.50	0.25	1.08	0.88	1.22	5.42	11.82	
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.03		0.25	
	流行性角結膜炎									0.75	3.67	10.39	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.02	0.63	0.32	
	無菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.36	
	マイコプラズマ肺炎									0.19	1.50	1.86	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.03	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	0.75	0.26	
計 (小児科定点当たり人数)	8.50	13.94	25.10	11.50	14.25	18.38	17.91				523.44		
前週 (小児科定点当たり人数)	9.00	9.87	12.10	13.50	13.00	7.63		10.74					

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第20週)

